

科学コミュニケーションの勉強のための書籍
(野口範子先生のコメント付き)

2025/03/07

- 石浦章一 (2022) 『日本人はなぜ日本人はなぜ科学より感情で動くのか：世界を確率で理解するサイエンスコミュニケーション入門』, 朝日新聞出版.
#入門書というわけではありません
- 内田麻理香 (2010) 『科学との正しい付き合い方』, ディスカヴァー・トゥエンティワン.
#わかりやすく参考になる
- オルソン, ランディ (2015=2018) 『なぜ科学はストーリーを必要としているのか—ハリウッドに学んだ伝える技術』, 坪子理美 訳, 慶應義塾大学出版会.
#柊さんおすすめ
- 国立科学博物館編 (2017) 『サイエンスコミュニケーションのはじめかた』, 丸善出版.
#やさしいタッチ
- 元村有希子 (2024) 『科学目線：上から下からナナメから』, 毎日新聞出版.
- 藤垣裕子・廣野喜幸編 (2020) 『科学コミュニケーション論：新装版』, 東京大学出版会.
#基本の教科書かと思います
- 渡辺政隆(2020) 『一粒の柿の種』, 岩波現代文庫.
#教科書ではないですが面白い